

広村堤防

和歌山県・広川町



安政元年(1854)の南海地震津波は当時の広村に壊滅的な被害をもたらした。

濱口悟陵は私財を投じ、いずれまた来襲するであろう津波に備えて、津波により仕事をなくした漁民や農民等村人を雇用し、高さ約5メートル、長さ600メートルの堤防を4年の歳月をかけて築いた。

この堤防のおかげで昭和21年(1946)の南海地震津波では、背後集落の大部分を津波から護った。

町では毎年11月3日に堤防を築いた濱口悟陵らの偉業とその徳をしのび、「津浪祭」がとり行われている。

なお、この「広村堤防」は昭和13年12月14日、浜口悟陵の墓碑とともに国の史跡に指定されている。

TOPICS

- ・津浪祭・ふるさとまつり 毎年11月3日 開催
- ・特産品：みかん、千両、おもと

お問い合わせ先

広川町教育委員会

- TEL / 0737-63-1122(代)
- URL / <http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/>

【交通】

- 徒歩 / JR湯浅駅から10分

